



夢に生きたん

Takeokadai High School
進路指導部 第4号(3年生用)
発行日 R6.10.10

大学入学共通テスト志願票出願完了!

～大学入学共通テストまであと100日～



1月18日(土)・19日(日)に実施される大学入学共通テストまで、本日10月10日(木)で**ちょうど100日**前になりました。共通テストでは、短時間で多くの資料から適切に情報を読み取り、学習内容と結びつけて考察する力が問われます。これから各教科で本格的に対策が始まると思いますが、全教科に共通するポイントを挙げてみます。

① 基礎事項の確認と徹底は必要不可欠

共通テストといえども、**必要とされる知識はあくまでも教科書の範囲内**です。基礎知識の正確な理解と定着がなければ解けない出題も多く、またそうした問題で差がつきやすい傾向もあります。

② 模擬試験の最大限の活用

模擬試験のように、出題傾向を押さえた新作問題を解くことは、出題形式に慣れるとともに、**知識や解法などをどれだけ深く理解して定着しているか、自分の課題を確認する上で有効**です。「初出の」問題への**対応力を高める**ことに活用しましょう。模試は見直してこそ意味があります。放活等を使って、模試の振り返りを充実させましょう。

◆出願後の流れ

学校経由で「確認はがき(出願受理通知)」が届く(10月25日まで)

登録内容を確認する(氏名・生年月日・連絡先・登録教科・イヤホン不適合措置の有無など)。

間違いがあった場合は、「住所等変更・訂正届」「登録教科等訂正届」に記入し、学校経由で返送する。

学校経由で「受験票」「写真票」「成績請求票」「受験上の注意」が届く(12月14日まで)

紛失しないように保管する

「成績請求票」は、国公立大学の個別試験や共通テストを課す学校推薦型選抜試験、私立大学や短期大学の共通テスト利用試験の出願に必要です。「受験票」は、個別試験や大学の入学手続きにも必要です。

◆大学入学共通テストまでのテスト日程と学習プラン

10月

- 5日 全統記述模試
- 12日 進研記述模試
- 19日 全国有名国公立私立大模試

11月

- 2～3日 ベネッセ・駿台共テ模試
- 16～17日 全統プレテスト
- 25～28日 卒業考査

12月

- 10～13日 直前演習Ⅰ・三者面談
- 14～15日 直前演習Ⅱ
- 21～22日 北予備ファイナル

1月

- 6～7日 直前演習Ⅲ
- 18～19日 共通テスト

バランスを考えた学習のリズムを定着させる

- ◇ 一日のやるべきこと、一週間のやるべきことの明確化と実践
- ◇ 個別試験科目の傾向を研究(記述型を意識した学習スタイル)
- ◇ 理科、地歴公民の対策を本格スタート(まず授業中心)



科目ごとに理解を深める

- ◇ 実践的な**問題演習**(時間配分のスキルを身に付ける!)
- ◇ 苦手科目の**弱点補強**
- ◇ 模試の**復習**(間違った箇所を丹念にやり直す!)



12月中旬からは復習モードに切り替え、直前対策をする

- ◇ 直前演習を通して、**弱点分野の確認と補強**
- ◇ 新しいものには手を出さず、**基礎・基本の復習重視**
- ◇ これまで書き込んできた自分のノートを見直し、**最終確認**

目標は「平日5時間以上、休日10時間以上、週合計40時間以上」

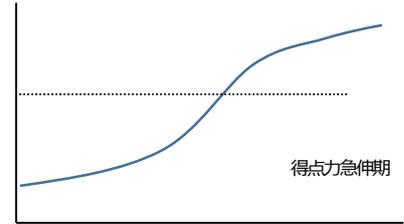
● 実力錬成期 ～現役生は、ここから伸びる！

既に教科書を終えている既卒生に対して、現役生は教科書が終わったばかりで基本を理解しただけの科目もあり、得点につなげるためには**十分な問題演習とその復習**が必要です。模試や演習で間違った問題はもちろん、あいまいなまま正解した問題についても、なぜできなかったのかを分析して、その対策をしていきましょう。

勉強に限ったことではありませんが、知識や技術の習得による成長は直線的ではありません。学んだことを理解して記憶した段階（顕在記憶）では、無意識に使うこと（応用すること）ができないからです。

何度も繰り返し復習すると、顕在記憶が潜在記憶となります。そうすれば、その知識を使って応用を行うことに脳のメモリを使うことができるようになります。この顕在記憶が潜在記憶になるまでのタイムラグが、S字カーブとって現れます。

現段階では、多くの人がS字カーブの手前にいます。**成績が思うように伸びなくても、焦らずに冷静に、地道に努力しましょう。**正しい勉強法で努力を続けていけば、得点力が急速に伸び、直前に「得点力」＝「合格可能性」が急上昇する可能性はあります。弱気な受験生が例年多いだけに、**大事なことは、最後まで第一志望を目指し、決して諦めないことです。**「たゆまず、あせらず、あきらめず」、日々努力しましょう。



● いよいよ受験後半戦 ～今後心がけておくべきこと

受験勉強を支えるのは、健全な身体と心

これからの季節は体調を崩さないように、**健康管理に十分注意すること**が重要です。今年度も感染症対策を万全にしておく必要があります。**生活習慣・学習環境を改善**して、受験後半戦そして試験本番に備えましょう。

- ① 大学入学共通テストの開始時刻は9：30。学校のない日も生活リズムを崩さないように。
- ② 食事をしっかりととり、睡眠時間を十分に確保する。

スマホと上手につきあう

9月に実施された学習実態調査では、スマホの使用時間(学習目的を除く)が長い生徒が多い結果が出ています。スマホを受験勉強に役立つツールとして使っているでしょうか。学習用アプリでスキマ時間を効率的に活用したり、学習動画をみたり、カレンダーやリマインダーでスケジュール管理をしたりしている人も多いでしょう。しかし、ちょっと息抜きのつもりでSNSやゲームをして、勉強時間が減ったり、集中力が低下したりしていませんか？勉強で眼を酷使した後でスマホの画面を見続けると、脳の興奮状態が続き、眼だけでなく脳の疲労にも繋がります。勉強とはまったく違う器官を使う息抜き（軽い運動をする、音楽を聴く）や、スマホ依存解消アプリの使用をしてみましょう。

◆総合型選抜・学校推薦型選抜受験について受験のポイント！

(1) 受験先の学校が知りたいこと = あなたの『過去』『現在』そして『未来』

- ① 過去 あなたがこれまで頑張ってきたことは何ですか？
- ② 現在 今、あなたはなぜ他の学校ではなくこの学校を希望するのですか？
なぜこの学部・学科なのですか？
- ③ 未来 あなたの将来の夢は何ですか？目標は何ですか？
あなたの夢は社会とどう繋がっていますか？



これまでの自分、そして、将来の社会や自分のことに思いを巡らし、「将来何をしたいか？」「どのように生きたいのか？」「そのために今何をしようとしているのか？」「何が必要なのか？」がきちんと答えられればOK。

(2) 「志望理由書」や「面接」でうまく伝えるために

- ① 相手に「地図」を渡す これから伝える内容の大筋(＝「地図」)を最初であらかじめ相手に渡す。
- ② 「幹」と「枝」 話題の「幹」になる内容と「枝」になる内容を意識する。
- ③ 「目」に浮かぶように これまでの自分や受験先の学校で学んでいる自分、そしてこれからの自分の姿が「目」に浮かぶように、具体例や数字をうまく利用する。